

# 令和5年度 高津支援学校 学校評価報告（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程学習指導	自立と社会参加をめざし、ライフステージを見据えたキャリア教育の充実を図るため、系統的、発展的な教育課程を編成する。	①個別教育計画と「たかつ教育内容系統表」をリンクさせたカリキュラム・マネジメントを推進する。 ②キャリア教育の視点を持ち、授業改善と指導力向上を図る。	①個別教育計画を活用し、自立と社会参加の視点で育てたい力を明確にし、社会生活の広がりをめざした教育活動に取り組む。 ②「校内人材バンク」「サポートシステム」「たかつ教育内容系統表」等をより活用しやすいシステムを構築する。	①将来を見据え、育てたい力を明確にした教育活動に取り組むことができたか。 ②さまざまな仕組みを活用し、授業改善と指導力向上を図ることができたか。
2	児童生徒・指導支援	児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、教育的ニーズに応じた指導・支援を全職員で組織的に実践する。	①児童・生徒のニーズに応じた教材研究や教材の共有を図る。 ②エビデンスに基づくアセスメントスキルの向上を図り、児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた指導・支援を行う。	①教材室や校内サーバの環境整備を行い、職員間で教材を共有する仕組みを構築する。 ②予防的ケース会や学習会等を活用し、児童・生徒のニーズと課題把握を行い、組織的に支援方法を充実させる。	①教材の共有やデータを活用する仕組みを構築することができたか。 ②児童・生徒一人ひとりのニーズに応じて、組織的に支援する体制づくりができたか。
3	進路指導・支援	自立と社会参加する上で必要な力を育成するため、本人のニーズや適性に応じた「キャリア教育の推進」のための進路指導・支援を実践する。	①卒業後の生活を見据えた指導内容を構築する。 ②児童・生徒の発達段階に応じて、保護者が理解しやすい情報発信をする。	①系統表のバージョンアップを通してアセスメントや評価の方法を検討し、児童・生徒の発達段階に応じた指導・支援を行う。 ②懇談会や進路学習会等において、保護者のキャリア教育に対する理解を深める。	①児童・生徒の実態に即したキャリア教育の実践ができたか。 ②キャリア教育に関する適切な情報提供ができたか。
4	地域等との協働	共生社会の実現をめざし、地域の学校への支援に組織的に取り組むとともに、コミュニティスクールを活用した地域と連携した学校づくりを行う。	①地域を学習の場として活用し、地域と連携した取組を充実させる。 ②共生社会の実現に向けて、地域における障害理解を深める。	①繋がりのある団体等との活動をより一層充実させ、地域との連携を強化する。 ②積極的に地域資源を活用し、児童・生徒の活動を地域に発信する取組を行う。	①施設開放団体、社会福祉協議会、地域商店街等との協働ができたか。 ②地域資源を活用した取組を地域に発信することができたか。
5	学校管理学校運営	児童・生徒が安心して過ごせる教育環境の整備と危機管理体制を構築する。 子どもたちと向き合う時間を確保するため、効果的な教育活動を行い、教員の働き方改革を推進する。	①児童・生徒の安全と健康を守るための環境を整え、防災教育・防災対策の充実を図る。 ②効果的な教育活動を推進するために、業務内容の精選と効率化を図る。	①社会情勢やガイドライン等を踏まえ、校内のマニュアルの整備・更新を行い、危機管理に努める。 ②業務・会議の見直しとTeamsの積極的な運用を進め、職員が意欲的に働ける環境整備を進める。	①危機管理体制を整え、防災教育や防災対策に取り組むことができたか。 ②業務の精選と効率化を図ることができたか。